

# 感染症週報 [ 市内週報 平成22年第26週 ]

結核・感染症発生動向調査

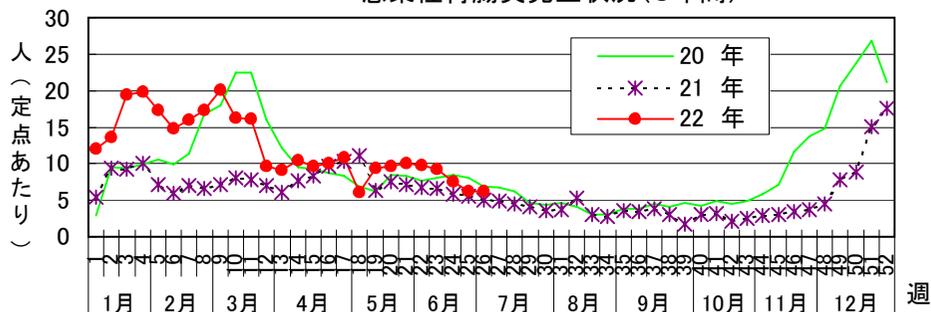
平成22年7月6日

平成22年第26週感染症発生状況【川崎市内】

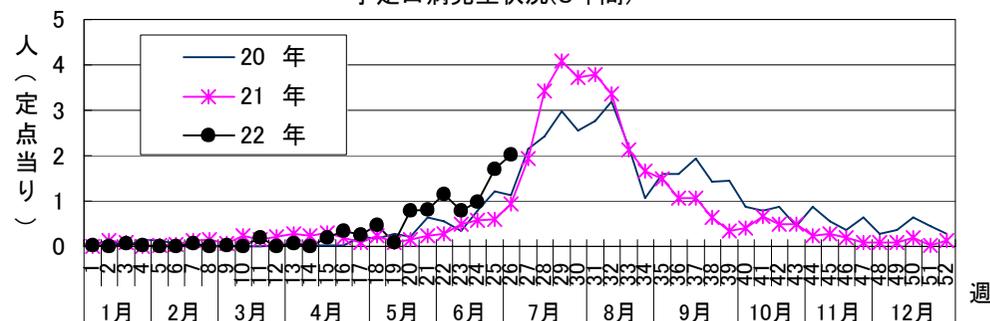
平成22年6月28日～平成22年7月4日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届 出	累計(平成22年第1週以降)
<p>第26週で報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)ヘルパンギーナ 3)手足口病でした。</p> <p>感染性胃腸炎が定点あたり6.21人と前週(6.15人)に比較して患者数は増加しております。</p> <p>ヘルパンギーナは定点あたり6.09人と前週(4.21人)に比較して患者数は大幅に増加しており、流行発生警報基準値(定点あたり6人)を超えました。特に、幸区・宮前区・多摩区で報告が多くなっています。</p> <p>腸管出血性大腸菌感染症の届出が1件(感染原因:不明、感染地域:不明)ありました。</p> <p>麻しんの届出が1件(感染原因・感染地域:不明、ワクチン接種歴:不明、年齢:41歳)ありました。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 5件	結核 181件
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1件	腸チフス 1件、腸管出血性大腸菌感染症 5件
	4類感染症	レジオネラ症 2件	デング熱 1件、A型肝炎 4件、レジオネラ症 5件
	5類感染症	麻しん 1件	アメーバ赤痢 7件 ウイルス性肝炎2件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 後天性免疫不全症候群 7件 梅毒 1件 破傷風 1件 風しん 1件 麻しん 5件

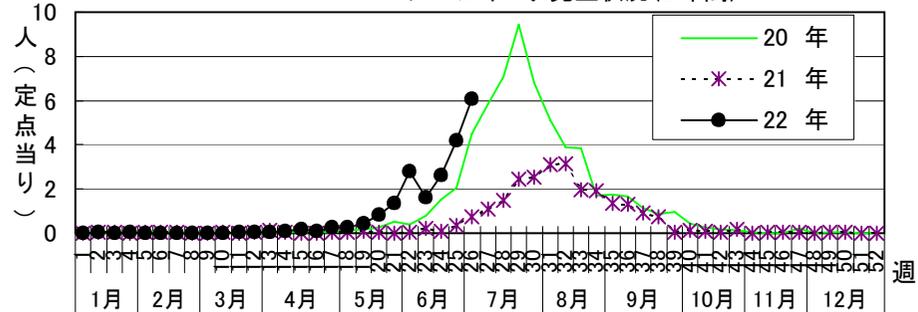
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



手足口病発生状況(3年間)



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)

